

令和2年度 事業報告書 令和2年度 決算書

自 令和 2年4月 1日
至 令和 3年3月31日

社会福祉法人小郡市社会福祉協議会

令和2年度事業報告

自 令和 2年4月 1日

至 令和 3年3月31日

—目次—

事業総括 P 1

事業概要

1. 社会福祉協議会運営基盤の強化 P 3

2. 相談事業 P 5

3. 資金貸付事業 P 11

4. 福祉バス（さちかぜ号）運行事業 P 15

5. 共同募金会（小郡市支会） P 16

6. 在宅福祉活動 P 17

7. ボランティア情報センター事業 P 19

8. 福祉団体活動支援 P 24

9. 福祉教育事業 P 25

10. 地域福祉活動 P 28

11. 令和2年度行事表 P 37

事業総括

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、各行事の中止が相次ぎ、また、密集を防ぐために会合も中止や時短で行わざるを得ない状況となりました。

本来、社会福祉協議会の使命は、地域の中で困っていることや困っている人に対し、人と人とがつながり何らかの解決策を模索していくことですが「活動自粛」「ステイホーム」「不要不急外出の自粛」など面談や訪問が出来づらい状況の中で、「人と人とがかかわる」ことが理念である「ふれあいネットワーク活動」では、孤立化を防ごうと地域のみなさんの協力により感染予防策を行いながら活動していただきました。

当会としてもコロナ禍の活動支援として10月に感染防止ガイドライン「新型コロナウイルス感染症に気を付けた活動」パンフレットを作成し配布、また、小郡市ふれあいネットワーク推進委員会で感染予防のためのポスターを作成しました。

新型コロナウイルスの影響を受けて減収又は離職した方に対する支援策として、厚生労働省は特例貸付の実施を決定し、令和2年3月23日から全国の市区町村社会福祉協議会窓口で受付を開始しました。

コロナウイルス感染拡大によって再三にわたる貸付期間延長を行い、約1年間の全国の貸付金額は8,400億円を超え、小郡市だけでも2億円を超えており、この先労働収入の確保が見込めない人たちが数多くいる中で貸付だけの支援では限界があり、今後の課題とも言えます。

令和2年度はコロナ禍ではありましたが、小郡市社会福祉協議会の活動方針「全国社会福祉協議会策定、社協・生活支援活動強化方針第2次アクションプラン」に基づき、「あらゆる生活課題への対応」及び「地域のつながりの再構築」に向けた取り組みを実施してきました。

【令和2年度重点的な活動の総括】

(1) 地域共生社会に向けた事業推進

- ①相談・支援体制の強化に向けて、包括的支援体制整備事業を受託し社会福祉協議会そのものが総合相談窓口となる「福祉なんでも相談」と銘打ち、社協だよりや改正したホームページで広報、また部門間の横断的相談支援体制づくりをはかりました。
- ②「地域共生社会」に向けた住民同士で助け合う人材育成の仕組みづくりについては、コロナ禍で対応できていません。令和3年度も引き続き検討します。

(2) 相談の先の課題解決の仕組みをつくる

社会福祉法人の公益的取り組みとして組織した「ふくおかライフレスキュー事業小郡地区連絡会」清掃支援、寄贈物の受給の仕組みづくりを行いました。

(3) 日常生活自立支援事業利用増加に伴う支援員の強化

利用者は増えており、事業継続のため支援員の新規雇用は必要となっております。

(4) 赤い羽根共同募金の再配分の検討

全国的に共同募金の実績額が減っている中で、募金協力の理解を得るために募金使途のわかりやすい説明が必要となっています。そのため、令和2年度は地域課題解決のための活動ニーズに広く対応し、固定化された配分ではなく柔軟な配分の仕組みづくりを検討し、配分委員会の設置や公募による配分を実施しました。

(5) 生活困窮者自立支援制度の任意事業就労準備支援事業受託の検討

必須事業である自立相談支援事業及び任意事業である就労準備支援事業を受託し家計改善支援事業をとの一体的実施をすすめる予定でありましたが、就労準備支援事業は令和3年度から市直営で実施されます。

(6) 多文化共生社会への推進

外国籍の方の住民登録が増える中で地域の方々と外国籍の方々のより良い協働社会の形成実現のため、相互理解のイベント「グローバル・フェスタinおごおり」の開催を計画していましたがコロナウイルスにより実行委員会は無期延期となっています。

安心して集まれるように

参加ルール

「うつつさない、うつらない」
ために
を
しましょう。

公民館等に
入るとき、出るとき
アルコール消毒液
で手指を消毒
しましょう。

人と人の距離を
(最低でも1メートル)
空けましょう。

1時間に5分~10分の
換気を行いましょう。

マスクをしていると
熱が体に
こもりがちです。
体調不良にならない
ように、こまめに
水分を取りましょう。

公民館等の使用後は
清掃・消毒をして、
ゴミは各自
持ち帰りましょう。

**小郡市ふれあいネットワーク
推進委員会**

事業概要

1. 社会福祉協議会運営基盤の強化

(1) 福祉基金積立

地域福祉活動を計画的に実施するための福祉基金として、令和2年度の残高は71,865千円です。

(2) 賛助会員制度の推進

市民の「福祉参加」として社協事業に賛同いただき、会費を通して様々な福祉活動を資金面で援助いただくため、賛助会員制度の推進に取り組みました。

会 員	件 数	会 費 額 合 計
個人会費	286 件	386,000 円
法人・団体会費	26 件	175,000 円
戸別会費		2,554,411 円
計	312 件	3,115,411 円

(3) 香典返し、寄付金等の受入れ

市民の方から、また団体から福祉活動に活用してほしいと温かいご寄付をいただきました。

	件 数	寄 付 金 額 合 計
香典返し寄付	19 件	1,070,000 円
一般寄付（特別定額給付金寄付含む）	43 件	1,163,432 円
施設整備寄付（サーモカメラ一式）	1 件	
物品寄贈（マスク等）	15 件	
計	78 件	3,058,432 円



寄贈 検温サーモカメラ一式
市内篤志家より
コロナ感染症拡大予防として、検温サーモカメラ一式を寄贈いただき、あすてらす玄関に設置活用させていただいています。



寄贈 手作りマスク
小郡中央保育園より
コロナ感染拡大によりマスク不足で困っている方へ、先生方による手作りマスクの寄贈をいただきました。

(4) 役員会等の開催

健全な事業運営のため、理事会・評議員会等を開催し、社協全体の事業等に関する審議を行い、事業の健全経営や透明性を図るため、監事による会計監査を実施しました。

名 称	期 日	内 容
監 査	令和2年5月22日	・令和元年度第3期監査（決算監査）
理 事 会	令和2年6月3日 決議の省略 （書面による議案 同意を得た）	・令和元年度事業報告（案）について ・令和元年度収支決算（案）について ・評議員選任・解任委員の選任について ・評議員候補者の推薦及び 評議員選任・解任委員会の開催について ・定時評議員会について ・会長の職務執行状況について
評議員選任・ 解任委員会	令和2年6月19日	・評議員の選任について
評議員会	令和2年6月26日 決議の省略 （書面による議案 同意を得た）	・令和元年度事業報告について ・令和元年度収支決算について ・理事の選任について
監 査	令和2年9月24日	・令和2年度第1期監査
監 査	令和3年1月26日	・令和2年度第2期監査
理 事 会	令和3年3月19日	・令和2年度収支補正予算について ・令和3年度事業計画（案）について ・令和3年度収支予算（案）について ・役員等賠償責任保険契約締結について ・経理規程の一部改正について ・評議員候補者の推薦及び 評議員選任・解任委員会の開催について ・評議員会について ・会長の職務執行状況について
評議員選任・ 解任委員会	令和3年3月19日	・評議員の選任について
評議員会	令和3年3月29日	・令和2年度収支補正予算について ・令和3年度事業計画（案）について ・令和3年度収支予算（案）について
監 査	令和3年5月18日	・令和2年度第3期監査（決算監査）

(5) 職員研修への参加及び実施

福岡県社会福祉協議会・両筑地区社会福祉協議会連絡会等が実施する各種研修・講習会への参加は、新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら参加するとともにオンラインを活用した会議・研修会に積極的に参加し、福祉施策やニーズの変化に対応できるよう職員の資質向上に努めました。

2. 相談事業

(1) 無料法律相談会の実施

弁護士による身近な法律相談窓口として無料法律相談会を実施しました。

毎月第2・4木曜日 13:00~16:00	実施回数 19回	弁護士1名 福岡県弁護士会筑後部会から派遣
--------------------------	----------	--------------------------

* 4月23日と5月はコロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

○会 場 あすてらす 会議室2

【相談実績】

① 相談者

年 代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代~	不明	
106名	男性	2	1	6	11	9	13	4	2
	女性	2	12	8	10	8	13	4	1

② 相談内容別件数 *一件の相談に複数相談内容有

相談内容	件数	相談内容	件数	相談内容	件数
相 続	40	結 婚	1	労 働	3
離 婚	24	土地・境界	7	保 険 金	1
多重債務	5	事 故	10	契 約 トラブル	4
借金・金銭 トラブル	6	近 所 トラブル	2	そ の 他	12
住 宅	4	介 護	2	合 計	129
家族親族 トラブル	7	障 が い	1		

(2) 他機関による無料相談会

相談会	開催日	場 所	主 催	利用 件数
無料調停 相談会	令和2年 11月8日(日) 9:30~15:00	小郡市総合保健福祉 センターあすてらす 2F 視聴覚室	久留米調停協会	7件

(3) 生活困窮者自立相談支援事業

様々な理由によって生活困窮に陥った方の包括的な相談に応じ面談を行い、本人の同意のもとに支援計画を作成し、伴走型の支援を行う生活困窮者自立支援事業が平成27年4月から全国で実施され、小郡市では当会が引き続き事業を受託し実施しました。

① 令和2年度新規相談件数

【令和2年度月別新規相談件数】	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談件数	20	3	6	7	20	19	17	23	21	16	28	26	206
プラン策定前委に終了	18	3	5	6	19	18	16	20	19	16	25	25	190
情報提供・相談対応のみで終了	6	2	2	2	1	1		1	5	1	4	2	27
プラン策定前に支援中断終了													0
他機関へのつなぎ	12	1	3	4	18	17	16	19	14	15	21	23	163
生活福祉資金の申請または検討		1	2				1	4	5		1		14
緊急援護資金の申請または検討	3					1		1		1	1		7
日常生活自立支援事業に移行						1							1
生活保護へつなぎ													0
コロナ特例貸付のみ	5			4	18	13	14	11	7	11	14	18	115
コロナ特例貸付・住居確保給付金	3					1	1	2		2	2	2	13
コロナ特例住居確保給付金のみ											1		1
その他関係機関	1		1			1		1	2	1	2	3	12
プラン策定	2	0	1	1	1	1	1	3	2	0	2	1	15
支援終了	1						1						2
支援継続中			1	1	1	1		3	2		2	1	12
中断	1												1
未同意・同意に向けての取り組み											1		1

平成29年度からの継続支援 2件(令和2年度終結1件 継続1件)

平成30年度からの継続支援 4件(令和2年度終結4件)

平成31年度・令和元年度からの継続支援12件(令和2年度終結8件 継続4件)

② 相談者の来所経路

関係機関	福祉課生活福祉係(生活保護)	10件	計206件
	高齢者関係機関	1件	
	障がい者関係機関	0件	
	子育て関係機関	7件	
	医療機関	1件	
	民生委員・区長等	1件	
	その他関係機関	3件	
本人直接	171件		
家族・知人	12件		

③ 資源活用及び開発状況

1	食糧・物品等支援について
	①社会福祉法人美光瑞園会(天心園パン) 令和元年7月23日 食品譲渡について覚書
	②フードバンク福岡 平成30年3月8日基本合意書 令和2年度計14回受給
	③共栄資源管理センター 遺品等による物品寄付
	④高齢者施設 遺品・退所等による物品寄付
⑤(株)タイラベストビート 食糧支援	

2	市民からの寄付 【食品】米・小麦粉・ゼリー 【物品】洗濯機・電子レンジなどの家電製品・将軍藤小判紙おむつ・タオル・毛布等
3	ふくおかライフレスキュー事業
4	市外広域による物品のやり取り 他市町社会福祉協議会による寄贈物物品のやり取り

⑤ 支援調整会議開催

回	開催日	新規計画案件	継続支援案件	終結案件	中断案件
第19回	6月30日	0	7	7	0
第20回	9月18日	0	5	3	1
第21回	11月6日	7	2	1	0
第22回	1月26日 書面開催	4	2	6	1
第23回	3月26日	3	4	3	1

⑥ 研修会、連絡会議等

1月26日	令和2年度ひきこもり支援者研修及びネットワーク会議 WEB開催
2月24日	令和2年度生活困窮者自立支援事業従事者スキルアップ研修 WEB開催
2月25日	令和2年度生活困窮者自立支援事業従事者スキルアップ研修 WEB開催
3月3日	令和2年度生活困窮者自立支援制度人材養成研修（後期）
書面会議	令和2年度福岡県生活困窮者自立支援制度福岡ブロック会議
中止	令和2年度小郡市生活困窮者支援事業庁内連絡会議
中止	令和2年度小郡市生活困窮者自立支援運営会議
中止	令和2年度小郡市生活困窮者自立支援庁内ネットワーク会議

(4) 住居確保給付金支給事業

* 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う支給対象者の拡大

生活困窮者自立支援法に基づく生活困窮者住居確保給付金の支給対象の拡大（令和2年4月20日厚生労働省社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室）について事務連絡があり、支給対象者が拡大され申請者が増えています。

改正後	改正前
<ul style="list-style-type: none"> ・事業を行う個人が当該事業を廃止した場合 ・就業している個人の給与その他の業務上の収入を得る機会が当該個人の責めに帰すべき理由又は当該個人の都合によらないで減少し、当該個人の就労の状況が離職又は前文の場合と同等程度の状況にある場合 	<ul style="list-style-type: none"> ・離職又は廃業した日から2年を経過していない方

令和2年4月20日通知：初回申請／3ヵ月

但し常用就職が出来なかった場合は延長・再延長申請可
最長9ヵ月間の支給可

令和2年12月8日通知：再々延長申請可／最長12ヵ月の支給可
但し令和2年度内の新規申請者のみ

令和3年 2月1日通知：特例措置再支給申請可

令和3年3月31日（のちに6月末までに変更）までの間に支給が終了したもので、引き続き経済的に困窮が続く場合
* 受給期間中求職活動が必須

●申請者

申請者数	34件
初回受給者〈3ヵ月間支給〉 コロナ特例貸付と併用申請者（27件） 母子世帯（6件）	28件
延長〈6ヵ月支給〉*内再支給申請者1件	21件
再延長〈9ヵ月間支給〉	13件
再々延長〈12ヵ月間支給〉*内再支給申請者3件	10件
再支給申請理由／以前他市で支給を受けていたため	1件
取り下げ	5件

(5) ふくおかライフレスキュー事業小郡地区連絡会

平成27年度末に「社会福祉法等の一部を改正する法律」が成立し、公益性、非営利性が極めて高い社会福祉法人には、「地域における公益的な取組み」を実施することが責務として規定されました。

このような状況の中、福岡県社会福祉協議会では、地域における公益的な取組みのひとつとして、県内の社会福祉法人が団結し、生活困窮等に陥っていても既存制度では解決できずに困っている方々等に対して、地域の社会福祉法人がそれぞれの専門性や社会資源を活かして支援を行う「ふくおかライフレスキュー事業」を進め、小郡市内においても平成31年2月に「小郡地区連絡会」を発足し下記事業を実施しました。

①ライフレスキュー事業申請 3件

ケース1	母親が家を出て、父親は仕事の都合で家におらず、次女が、三女、長男のめんどうをみており、ネグレクト状態。家賃を滞納し、退去しなければならない状態。市関係者、学校、スクールソーシャルワーカー等で協議。	家賃滞納分の給付
ケース2	同じ職場の男女が新型コロナウイルスの影響で離職し、入籍後に出産。収入が無く生活保護を申請。	粉ミルク、紙おつ、水道、電気、ガス滞納分を支給
ケース3	コロナの影響で、自営の収入が無収入となり家賃、水道料金が未納。	家賃、水道料金給付

②小郡地区連絡会の開催 *新型コロナウイルスの影響により書面決議で同意を得た。

4月18日 【参加団体】 市内14法人 協力事業所1社 市福祉課・介護保険課	【協議事項】 1. 令和元年度事業報告について 2- (1). もったいないプロジェクトについて 2- (2). ふくおかライフレスキュー事業小郡地区連絡会による清掃支援 3. ライフレスキュー通信について
--	---

③ライフレスキュー事業以外の公益事業について

●もったいないプロジェクト

地域の方から寄せられる寄贈物をストックし、必要とされる方との調整を行う。

●ふくおかライフレスキュー事業小郡地区連絡会による清掃支援

清掃支援は認知症や様々な要因により、生活する上で衛生環境の悪化が著しく見られ、保健衛生上何らかの支援が必要にもかかわらず、経済的な理由等により改善が困難な方に対し、当会会員及び支援団体の中から無償での支援協力を頂ける方を募りサービスを提供する。

(6) 日常生活自立支援事業

高齢者や障がいのある方で、判断能力が十分でなくても地域で安心して暮らせるように、福祉サービス利用援助や預金通帳印鑑等の預かり、公共料金等の支払いの代行を行うサービス事業を実施しました。

複合的なサービスの支援が必要となっている一人暮らしの高齢者や精神障がい者から、専門員に寄せられる日常的な生活相談が増えています。

専門員 2名 (1名兼任)	困りごとや悩みごとの相談を受け、相談者からの要望をもとに適切な支援計画をつくり、契約を行い、継続して相談支援を行う。
生活支援員 5名	支援計画に沿って、定期的に訪問。福祉サービスの利用手続きや、預貯金の出し入れを行う。臨時職員として雇用契約をしている。

●延契約者数 (令和2年4月1日から令和3年3月31日)

日常金銭管理	年金・福祉サービス利用料・医療費・公共料金・生活費の支払い、預貯金の払い出し、預入等の代行	25件
	小郡市社協で通帳の預かり	25件
書類の預かり	年金証書・預貯金通帳・権利書等 (福岡銀行小郡支店貸金庫)	15件

●日常生活自立支援事業訪問活動回数

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者	高齢者	12	12	16	15	15	15	12	9	13	12	9	10	150
	知的障がい者	12	12	8	9	11	9	10	7	11	12	7	11	119
	精神障がい者	10	11	9	13	13	13	11	14	12	13	12	13	144
計		34	35	33	37	39	37	33	30	36	37	28	34	413

●日常生活自立支援事業相談状況

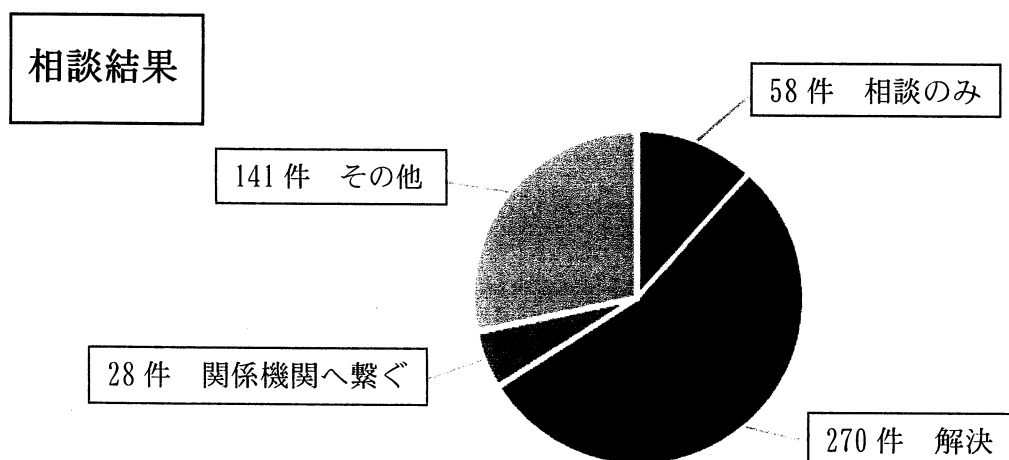
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規相談	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
新規契約者	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	4
契約修了者	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2

(7) 福祉なんでも相談

地域共生社会に向けた包括的支援体制整備事業を受託したことにより、地域住民の複合的な課題を包括的に受け止める総合相談窓口として「福祉なんでも相談」を令和2年11月に開設しました。

①相談実績

結果	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談のみ	0	25	11	21	1	58
解決	64	111	25	40	30	270
関係機関へ繋ぐ	5	11	5	2	5	28
その他	58	49	7	19	8	141
計	127	196	48	82	44	497



②研修・連絡会議等

10月14日	重層的支援体制整備事業研修 相談包括化推進員等への支援と人材育成事業 オンライン研修 厚生労働省
12月17日	第1回地域共生セミナー 「地域資源を活かした居住支援」 博多バスターミナル 九州厚生局
12月22日	重層的支援体制整備事業研修 相談包括化推進員等への支援と人材育成事業 オンライン研修 厚生労働省
1月19日	重層的支援体制会議 (あすてらす会議)
3月17日	第2回地域共生社会の実現に向けた自治体等研修 (オンライン) 九州厚生局

3. 資金貸付事業

(1) 生活福祉資金及び緊急援護資金

新型コロナウイルス特例貸付に貸付相談が流れ、教育支援資金のみの実績となりました。

母子父子世帯の申請が12件、そのうち生活保護受給世帯が5件でした。その他の申請が生保世帯1件、特例貸付併用申請が4件でした。(2件は兄妹)緊急援護資金貸付の内訳は、生活保護初回受給までのつなぎ資金が13件、年金までのつなぎ資金が1件、つなぎ資金ではなく特別な緊急時と判断したケースが2件、令和2年度のみ貸付償還率は76.5%となっています。

・実績

種 類		借入申 込件数	貸付決 定件数	令和2年度貸付金額
総合支援資金	生活支援費	0	0	
福祉資金	福祉費	0	0	
	緊急小口資金	0	0	
教育支援資金	教育支援費	3	3	13,321,000円
	就学支度費	17	17	
不動産担保型 生活資金	一般世帯向け 要保護世帯向け	0	0	
緊急援護資金 (小郡市社協独自貸付)		16	16	令和2年度貸付総額 470,000円 内2年度貸付分償還金額 360,000円 令和2年度の償還率 76.5%
合 計	令和2年度	36	36	
	令和元年度	34	34	

(2) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う特例措置である緊急小口資金等の特例貸付

令和2年3月10日「新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策第2弾」の発表が行われ、生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例貸付を実施することとなり全国の市区町村社会福祉協議会が窓口となり申請受付を行いました。

受付開始は3月19日から7月末まででしたが、9月末、12月末、令和3年3月末、令和3年6月末と再三にわたり延長されています。

また、申請者の増加により令和2年4月30日から「ろうきん」、5月28日から郵便局で緊急小口資金のみの受付が行われ令和2年9月30日終了しました。

その為、ろうきん、郵便局で緊急小口資金を借り受けた件数は把握できず、以下の集計は当会での申請件数となります。

なお、令和3年3月31日現在当会で受け付けた申請件数699件。

実申請者数396名。総貸付金額207,230,000円になります。

*福岡県全体では約52億円

当会での特例貸付の特徴は、政令市や中核市を除き外国籍、特に留学生の貸付件数が多く、他市に比べ外国籍のコミュニティーの大きさがうかがえます。

【特例貸付制度】

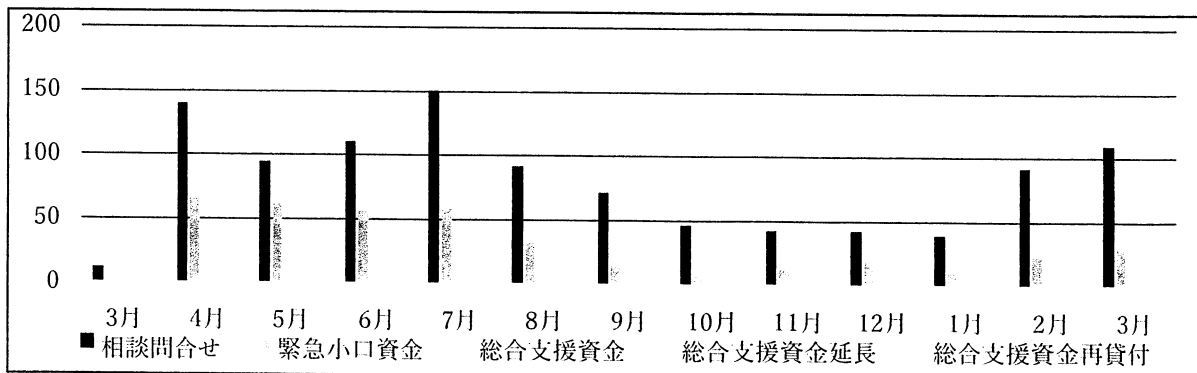
	緊急小口資金	総合支援資金		
		初回	延長	再貸付
貸付上限	【単身世帯】 原則 100,000 円以内。 但し、状況により上 限 200,000 円まで可	【単身】 上限額 45 万円 / 15 万円の 3 か月 【複数世帯】 上限額 60 万円 / 20 万円の 3 か月 * 初回から再貸付で最大で 9 か月申請可能		
据置	当初 1 年、現在 2 年			
償還期間	2 年以内	10 年以内		
利息	償還期間内は無利息			
償還免除	国の方針は、償還開始時に非課税であれば免除。詳細は未定。			
条件	コロナウイルス感染症によって、収入が減少した方。但し、世帯での貸付。			

【当会での対応】

職員体制	生活支援係 3 名・地域福祉係兼任 1 名 4 月から 6 月まで地域福祉係から 1 名、ボランティア情報センター 2 名応援 対応。7 月のみ、週 3 回の臨時職員を採用
感染防止策	エントランスホールで受け付け対応・時間予約制 対応時間短縮のため起案書類等簡略化
その他	コピー機のリース (4 月～8 月まで) 令和 2 年ゴールデンウィーク対応

【月別申請件数】

	令和 2 年											令和 3 年			
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
相談問合せ	12	140	95	110	150	91	72	46	42	42	39	91	109	1039	
緊急小口資金	4	66	62	57	59	33	16	8	14	19	12	23	30	403	
総合 支援 資金	初回	1	6	21	44	30	17	12	10	8	5	12	11	14	191
	延長	0	0	0	0	7	20	14	7	5	4	4	8	14	83
	再貸付												12	10	22
申請件数計	5	72	83	101	96	70	42	25	27	28	28	54	68	699	



【新型コロナウイルス特例貸付における経緯】

令和2年 3月	23日から受付開始	
4月	26日住居確保給付金新型コロナウイルス流行拡大にかかる運用の変更 30日「ろうきん」受付開始 令和2年度小郡市生活困窮者支援事業庁内連絡会議	4月7日東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡 7都府県緊急事態宣言 16日全国に拡大
5月	28日郵便局受付開始	4日緊急事態宣言期間延長 14日緊急事態宣言一部解除 21日大阪京都兵庫解除
6月	受付期間延長／令和2年9月30日まで延長（令和2年6月16日通知）	
7月	総合支援資金貸付期間3ヵ月延長・最大6ヵ月間に延長（令和2年7月2日通知）9月末までに送金完了を迎える借受人へ通知文書送付翌月から随時送付	22日「Go To トラベル」（東京都除外） 10月1日から東京都も対象
9月	受付期間再延長／令和2年12月31日まで（令和2年9月16日通知） ろうきん、郵便局9月30日受付終了	
12月	受付期間再々延長／令和3年3月31日まで（令和2年12月9日通知）	
令和3年 1月		1月7日二度目緊急事態宣言（東京、神奈川、埼玉、千葉）1月8日～2月7日・1月13日栃木、岐阜、愛知、京都、大阪、兵庫、福岡を追加
2月	総合支援資金再貸付／最大9ヵ月間の貸付（令和3年2月2日プレスリリース） 2月17日押印廃止の通知	2月28日緊急事態宣言 首都圏以外解除
3月	受付期間延長3回目／令和3年6月30日まで（令和3年3月19日通知）	3月21日緊急事態宣言全面解除

【集計1】

延 申 請 件 数	緊急 小口資金	総合支援資金			計	備 考
		初回	延長	再貸付		
	403	191	83	22	699	緊急小口資金取り消し2件 総合支援資金延長不承認16件 総合支援資金延長取り下げ1件

【集計2-1】

外国籍延申請件数	緊急 小口資金	総合支援資金			計
		初回	延長	再貸付	
外国籍 (内外国籍留学生)	109 (82)	30 (12)	2 (0)	0 (0)	141 (94)

【集計2-2】

国 別 実申請者人数	ネパール	フィリピン	スリランカ	ベトナム	計
	95	3	1	7	106

【集計 3】

延母子・父子 世帯申請件数	緊急 小口資金	総合支援資金			計
		初回	延長	再貸付	
	35	17	7	1	60

【集計 4】

年代別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
実申請者人数	2	135	76	78	57	30	17	1

【集計 5】 実申請者が貸付併用した件数

小口のみ	205	
小口と総合	101	
小口と総合・総合延長	59	
小口と総合・総合延長・総合再貸付	21	
総合のみ	9	市外もしくは、ろうきん・郵便局で小口申請
延長・再貸付	1	
実申請者数	396	

【特例貸付の主な減収理由】

コロナによる減収	雇用	99	製造業海外からの部品供給不足営業停止
			スポーツクラブ・接客飲食業・宿泊業・イベント業スタッフ
			店舗の休業・時短要請による勤務時間減
			職場内感染者もしくは濃厚接触者による休業
	自営	97	イベント中止に伴う収入減／司会・商品卸・露天商・行商・ステージイベントスタッフ・衣装等の下請け・音楽演奏家
			飲食業・理美容・整体・タクシー・バス・運転代行業客離れによる減収
			旅行業・自動車販売・ホテル等の清掃業
			建築業工事延期
			海外の輸入不足のため営業できない
	アルバイト	116	休校・保育園登園自粛要請により休業
			主にサービス業の休職・休業による減収
			宿泊業スタッフ
工場内作業・仕出し等時短により収入減 (外国籍留学生はほぼ上記の理由により減少)			
日雇業の仕事減			
コロナによる離職	無職	75	休校による離職
業務休止による離職			
基礎疾患を持つため人との接触を避け自主退職			
内定取り消し			
コロナの影響によらない無職	無職	9	元々不安定な職を繰り返し、仕事が見つからない
仕事を探していたが、コロナの影響によってさらに職が決まらない			

計 396 名

4. 福祉バス（さちかぜ号）運行事業

新型コロナウイルス感染予防対策として乗車定員数の変更（28名を半数の14名）移動途中の換気などを行いながら、社協や支援する団体が円滑な活動ができるように、ふれあいネットワーク事業、市内の福祉団体やボランティア団体等の研修、ボランティア活動、レクリエーション事業等、地域福祉の推進を図るためマイクロバスの運行を行いました。なお、新型コロナウイルス対策特別措置法による緊急事態宣言期間中（1回目4月7日から5月14日まで、2回目1月16日から2月28日まで）は運行予約を中止しました。

【福祉バス利用状況】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
令和2年度 運行回数	0	0	0	0	2	0	3	10	1	2	1	2	21
令和2年度 利用人員	0	0	0	0	25	0	36	188	10	21	11	27	318
令和元年度 運行回数	9	15	17	11	13	15	18	15	9	11	7	1	141
令和元年度 利用人員	207	312	319	251	290	343	399	302	159	217	146	17	2,962

【利用団体】

小郡市社会福祉協議会・各区ふれあいネットワーク推進委員会・各福祉団体・ボランティア団体・各老人クラブ・保育所

5. 共同募金会（小郡市支会）

（1）赤い羽根共同募金運動

共同募金会小郡市支会として、福祉事業の振興を図るため、10月から12月まで赤い羽根共同募金運動を行い、行政区、関係団体・個人等の協力により、赤い羽根共同募金額は、9,390,665円の実績を上げることができました。

【各種募金実績】

（単位：円）

募金種別	令和2年度実績	令和元年度実績
戸別募金	6,130,300	6,231,450
街頭募金	90,976	141,009
個人・法人募金	1,452,862	1,575,541
設置募金箱募金	319,212	250,348
学校募金箱募金	175,205	195,497
資材（バッジ・ボールペン・クオカード等）募金	1,160,600	1,078,000
あすてらすフェスタ募金（令和2年度開催中止）	0	18,393
自動販売機収入募金	61,495	54,482
預金利子	15	17
計	9,390,665	9,544,737



新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら、10月・12月に職員のみで街頭募金活動を実施しました。



「学校で募金を呼びかけ集めました。小郡のまちに役に立ててください。」と学校募金活動の報告を受け、募金箱を預かりました。

(2) 共同募金小郡市支会理事会・監査

令和2年5月26日	・令和元年度共同募金小郡市支会監査（会計監査）
令和2年8月25日	・会長の互選について ・副会長の互選について ・令和元年度共同募金事業報告について ・令和元年度共同募金収支決算について ・共同募金配分要綱（案）について ・共同募金配分審査会設置要綱（案）について
令和3年2月22日	・令和2年度共同募金事業報告及び令和3年度共同募金配分（案）について ・令和3年度共同募金事業計画（案）について ・令和3年度共同募金収支予算（案）について

・共同募金運動のチラシ22,250部を、10月1日に市内各世帯等に配布

(3) 災害募金の取り扱い

災害により被災された方々の生活支援のためなどにご多くの方々から募金をいただき、各県を通して被災地に届けました。

令和2年7月福岡県豪雨災害義援金	13,155円
令和2年7月豪雨災害義援金	1,713円
熊本県南豪雨災害義援金	30,571円
合 計	45,439円

6. 在宅福祉活動

(1) 車いす対応車輛貸出事業

障がい者や歩行困難な高齢者に対して社会参加を支援するため、車いす対応車輛を貸出すことにより、障がい者等の福祉の向上と、在宅福祉の充実を図ることを目的に実施しました。

【 利用実績 】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
令和2年度件数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2	8	13
令和元年度件数	2	2	2	2	1	2	3	6	1	0	0	0	21

(2) 障がい児長期休暇スクールの実施

市内在住の障がい児（小中高生）が長期休暇中（春休み）にスクールに参加して、ボランティアと楽しく過ごし、障がい児同士の交流と同時にボランティアの育成を目的として市福祉課、NPO法人サポネットおごおり、こぐま福祉会との共催により実施しました。

① サマースクール（令和2年8月17・18・24・25・27日）

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、開催を中止しました。

② ウィンタースクール（令和3年1月5日・7日）

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、開催を中止しました。

③ スプリングスクール（令和3年3月25日）

参加者（障がい児）	10名
ボランティアスタッフ	27名
時 間	9:00～16:00
会 場	「あすてらす」（多目的ホール）と 八女市上陽町こぐま福祉会尾久保研修所
内 容	・皆でバスや車に乗ってドライブ八女市上陽町へ ・上陽町の大自然を満喫



(3) 障がい児タイムケア事業の実施

障がい児の放課後や長期休暇中の居場所づくりとボランティアとの交流を目的とした障がい児の一時預かり事業を週1回(利用者約7名)実施しました。

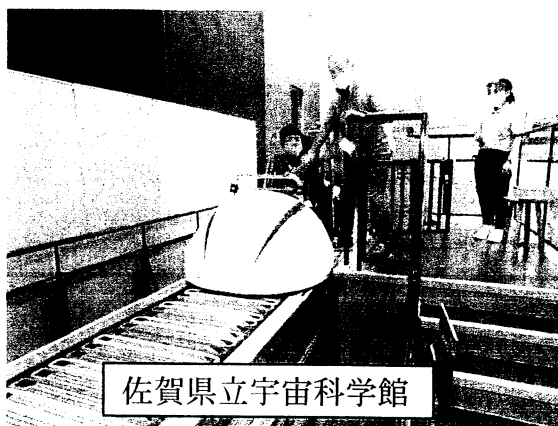
回	月	日	利用者数	スタッフ数	回	月	日	利用者数	スタッフ数
1	5	7	0	0	19	10	1	6	9
2		14	0	0	20		8	5	8
3		21	0	0	21		15	6	9
4		28	0	0	22		22	5	9
5	6	4	6	10	23	11	29	5	9
6		11	6	8	24		5	3	5
7		18	5	9	25		12	6	9
8	7	25	6	8	26	12	19	7	9
9		2	6	9	27		26	6	9
10		9	6	11	28		3	6	8
11		16	6	7	29		10	6	8
12	8	30	5	9	30	1	14	6	7
13		6	6	7	31		21	4	10
14		20	6	6	32		28	6	8
15	9	3	7	8	33	2	4	5	9
16		10	6	6	34		18	3	7
17		17	5	9	35		25	5	7
18		24	7	7	36		4	5	9
					37	3	11	5	8
					38		18	5	8
計								188	279

緊急事態宣言発令後、あすてらすの使用が出来なかった為、5月は中止しました。

【会 場】 「あすてらす」(会議室2)・(和室)

【時間・内容】

- ☆学業中
 - ・15時から18時まで
 - ・利用者1名に対しスタッフ1～2名が対応。
室内では折り紙、お絵かき等、室外では近くの公園等で過ごす。
- ☆長期休暇中
 - ・10時から16時まで
 - ・バスハイク
(佐賀県立宇宙科学館、国立夜須高原青少年自然の家、福岡県立青少年科学館、宮の陣クリーンセンター)



佐賀県立宇宙科学館



宮の陣クリーンセンター

7. ボランティア情報センター事業

ボランティア情報センターでは、ボランティアに関する情報の収集・提供、ボランティアの養成、活動支援、広報啓発活動、相談受付・コーディネート、活動室や備品の貸出等を行いました。

(1) ボランティア情報センター活動・利用状況

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
登録団体数		16	18	22	22	22	22	23	25	25	25	25	25	25	
登録	男性(人)	0	1	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	13	
	女性(人)	0	0	1	5	0	0	1	0	0	0	0	0	7	
	合計(人)	0	1	1	17	0	0	1	0	0	0	0	0	20	
ボランティア情報センター	利用回数 (回)	午前	0	0	2	4	4	2	3	5	4	4	7	7	42
		午後	0	0	4	0	1	2	2	3	1	2	5	5	25
		夜間	0	0	1	0	1	0	3	4	1	0	0	2	12
		終日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		合計	0	0	7	4	6	4	8	12	6	6	12	14	79
	利用人員 (人)	午前	0	0	10	11	17	19	15	42	14	23	32	59	242
		午後	0	0	25	0	1	13	4	20	2	17	22	17	121
		夜間	0	0	8	0	9	0	21	30	8	0	0	18	94
		終日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		合計	0	0	43	11	27	32	40	92	24	40	54	94	457
活動室利用	利用回数 (回)	午前	0	0	14	12	10	10	12	12	10	9	7	12	108
		午後	0	0	3	5	0	1	4	6	2	0	0	5	26
		夜間	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	6
		終日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		合計	0	0	18	18	11	12	17	18	12	9	7	18	140
	利用人員 (人)	午前	0	0	138	131	89	108	125	97	101	75	68	109	1,041
		午後	0	0	36	60	0	5	48	56	24	0	0	30	259
		夜間	0	0	13	8	7	6	4	0	0	0	0	4	42
		終日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		合計	0	0	187	199	96	119	177	153	125	75	68	143	1,342
保険	件数(件)	7	6	5	31	0	3	6	2	1	1	4	16	82	
	人数(人)	67	127	17	51	0	35	125	81	20	1	75	445	1,044	
相談件数(件)		5	3	12	11	9	2	7	6	6	2	7	9	79	

(2) ボランティア講座の開催

①福祉レクリエーションボランティア講座開催 (全7回)

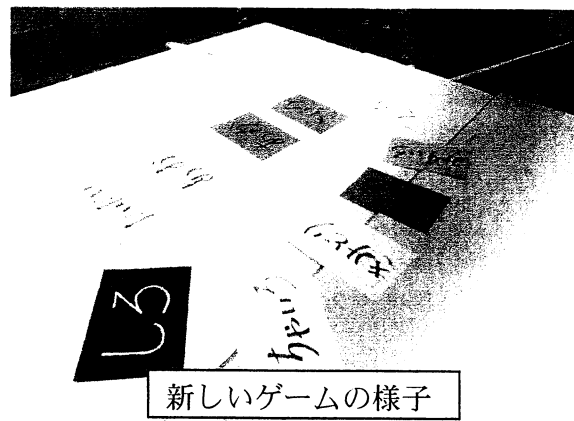
地域のふれあいネットワークのサロン活動等で活躍していただくボランティアの方を養成するため、レクリエーションを通して仲間づくりや健康な体づくりをしながらレクリエーションを習得していただく講座を開催しました。

【開催場所】 小郡市総合保健福祉センター「あすてらす」内多目的ホール
視聴覚室 生涯学習センター(七夕ホール)等

	講座日程	内 容	参加者
1回	9/15 (火) (14～16時) 視聴覚室	基礎講座1「楽しいコミュニケーションでアイスブレイキング」 ①～元気が出る歌レクサ・仲間作りを促すゲーム&レク財～ 講師：インストラクター：柳本小百合 武田フミコ	27名
2回	10/6 (火) (14～16時) 七夕ホール	基礎講座2「楽しいコミュニケーションでアイスブレイキング」 ②～元気が出る歌レクサ・仲間作りを促すゲーム&レク財～ 講師：佐藤靖典 柳本小百合 武田フミコ	28名
3回	10/27 (火) (14～16時) 視聴覚室	基礎講座3「正しく・楽しくからだを動かしましょう」 ～間違っていないか？あなたの運動～ 講師：(けんとす)株式会社 健康運動指導士：上本哲也	28名
4回	11/10 (火) (14～16時) 視聴覚室	応用編1「音楽を楽しみながら免疫力アップ！」 ～音楽レクリエーションと音楽療法で心とからだ元気アップ～ 講師：健康管理士 肥後 喜子	26名
5回	11/19 (木) (14～16時) 多目的ホール	復習「ロコモティブシンドロームにならないからだづくり」 復習「正しく・楽しく体を動かしていますか？」 講師：健康運動指導士：上本 哲也	27名
6回	11/24 (火) (14～16時) 多目的ホール	応用編2 レクリエーションプログラムの立案& ～Withコロナ時代、地域サロンで元気アップ～ ～ソーシャルディスタンスとソーシャルコミュニケーション～ 講師：佐藤靖典 柳本小百合 武田フミコ	28名
7回	12/8 (火) (14～16時) 多目的ホール	復習・まとめ「ロコモ・認知症リスクを下げる生き方」 ～レクリエーションゲーム～ 講師：肥後喜子 佐藤靖典 柳本小百合 武田フミコ	26名



七夕ホール



新しいゲームの様子

②点訳ボランティア入門講座 中止

③災害ボランティア講座

災害ボランティアに関する心得等の基礎知識を習得し、防災に関する興味関心を持つことを目的に開催しました。

日 時：令和3年3月20日(土) 10:00～12:00

講 師：一般社団法人 九州防災パートナーズ 藤澤 健児 氏

参加人数：三井高校生 15名 小郡高校生 9名

市内在住高校生 1名 一般 3名 計28名



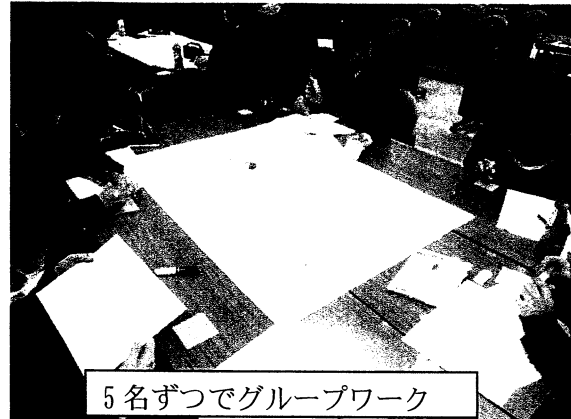
三井高校、小郡高校の受講生



試食のための非常食



グループワークの報告をする高校生



5名ずつでグループワーク

④地域ささえあい講座

超高齢社会の課題の一つである認知症と健康をテーマにあげ、いくつになっても豊かで元気に暮らせるような地域づくりをめざし、その地域づくりの一つの方法としてボランティア活動に焦点を当て、それにより、自分の生活の中にボランティア活動を取り入れようという気持ちを持ってもらうと共に地域のボランティアの裾野を広げることを目的に実施しました。

開催日	場所	テーマ及び講師名	参加人員
10月27日	福岡県立 三井高等学校	三井高校福祉教養コース生徒向け 福祉施設職員の現場の話 講師：社会福祉法人青寿会青寿苑 津田智浩氏 社会福祉法人翔朋会翔朋学園山下良子氏	25名
11月17日	あすてらす	映画上映 「ぼけますから、よろしく願いいたします。」	42名
11月30日	あすてらす	講演会 「豊かな人生を送るために必要なこと」 講師：公益財団法人さわやか福祉財団 九州1ブロックリーダー 阿部かおり氏	22名



(3) あすてらすフェスタにおける広報啓発活動

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、あすてらすフェスタは中止されました。

(4) ボランティア団体活動助成

市内で福祉活動を行うボランティア各団体に対し助成を行いました。

①小郡手話の会

手話通訳者の養成や手話の習得を通じて、ろうあ者と会員の親睦を深めることで、ろうあ者やろうあ問題に対して理解し、ろうあ者の福祉向上を図りました。

②小郡点訳堂の会

市内の視覚障がい者の方への広報発送、依頼文の点訳、行政からの点訳依頼、小学校での点字学習指導を行い、点訳ボランティアとして活動を地域に広めました。

③小郡テープの会

NHK巡回朗読セミナー等研修勉強活動、市広報等カセットテープ作成配布、発送等を行いました。

④小郡要約筆記の会「たなばた」

難聴者、中途失聴者、高齢難聴者の社会参加、日常生活、趣味等のボランティア活動援助を目的に活動を行いました。

⑤認定NPO法人日本車椅子レクダンス協会小郡支部

訪問活動は出来ませんでしたが、障がい者の社会参加を目的とした養成講座、講習会等を行いました。

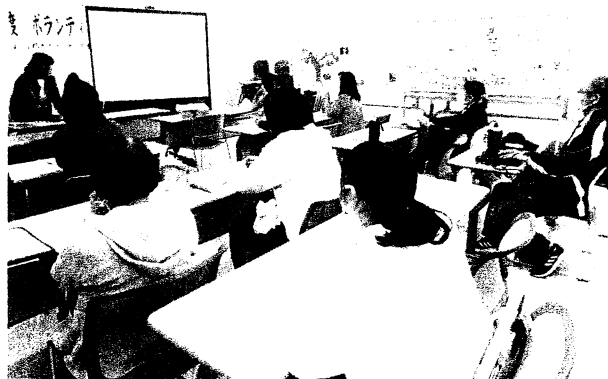
⑥セラピューティック・ケア「えがお」

訪問活動は出来ませんでしたが、新型コロナウイルス終息後のために、定例会やスキルアップ研修等を行いました。

(5) ボランティア連絡協議会の活動

小郡市ボランティア連絡協議会の事務局を担当し、活動支援を行いました。

4月	20日	会長新旧副会長会議
	23日	会計監査
	28日	総会資料配布
6月	1日	会長新旧副会長会議
	22日	第1回理事会
	25日	小郡市市民提案型協働事業補助金提案書提出 (6/30 決定)
7月	27日	臨時理事会 ぼらネット発行
9月	14日	第2回理事会
	29日	役員研修／講演「楽しいボランティア」 伊万里市ボランティア連絡協議会役員 松尾真弓 氏
10月	7日	リモート (ZOOM) 研修
	9日	第3回理事会
	13日	ボランティア養成講座①
11月	10日	ボランティア養成講座② ぼらネット発行
12月	8日	ボランティア養成講座③
	10日	第4回理事会
	15日	福祉施設等へ消毒液寄附実施
1月	12日	ボランティア養成講座④
2月	9日	ボランティア養成講座⑤
3月	8日	第5回理事会



ボランティア養成講座



各福祉施設等へ消毒液寄付

8. 福祉団体活動支援

(1) 高齢者福祉

小郡市老人クラブ連合会が主催する各活動事業を通じて、高齢者の生きがい、地域の高齢者福祉の推進を目的とし、下記の事業に対し助成を行いました。

- ・ 高齢者生きがい創作活動（グラウンドゴルフ大会、ペタンク大会、園芸教室）
- ・ 趣味活動（樹脂アート作り教室、マスク作り教室）
- ・ 健康保持・触れ合い活動
（美化活動、ロコモ・フレイル健康講座、みんなで踊ろう会、健康体操）
- ・ 高齢者見守り活動
- ・ 高齢支援活動員研修会
- ・ 高齢者支援活動会議

(2) 障害福祉

小郡市身体障害者福祉協会が実施する事業は新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、活動できず助成金を辞退されました。

(3) 母子寡婦福祉

小郡市母子寡婦福祉会が実施する事業は新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、活動できず助成金を辞退されました。

(4) 青少年福祉

青少年の健全な育成を目的とし、各団体に対し助成を行いました。

- ①小郡警察署少年補導員連絡会小郡支部助成
（街頭補導活動、指導、巡回活動並びに情報交換会や研修活動）
- ②久留米保護区保護司会小郡分区助成
（公平と誠実を旨とし過ちに陥った人たちの更生、自立を助け「明るい社会」を築くため全ての人たちと手を携え、犯罪や青少年の非行防止に努める活動）
新型コロナウイルスの影響で事業縮小したため助成金減額申請されました。
- ③小郡市青少年育成市民会議助成
（青少年の健やかな育成及び非行防止、青少年を取り巻く社会環境の浄化・整備、家庭・地域の連携を目的とする活動）
- ④小郡子ども劇場活動助成
（子どもの成長に欠かせない文化を育むために、「鑑賞活動」及び「自主活動」を行い、子どもが心豊かに育つことを目的とする活動）
- ⑤小郡・三井少年の船実行委員会助成
小郡・三井少年の船実行委員会が実施する事業は新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、活動できず助成金を辞退されました。
- ⑥児童劇団つばさ活動助成
（活動を通じて、子どもの健全な育成を促進し地域との交流を深め、社会教育の向上を目的とする活動、環境保全活動、福祉活動とそれをテーマとした創作ミュージカル公演）
- ⑦みくにつこ劇団レインボーキッズ活動助成
（芝居を通して、子ども達の表現力、コミュニケーション能力を高め、子ども達の健全育成を育む活動）

(5) 児童福祉

小郡市保育協会が実施する事業は新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、活動できず助成金を辞退されました。

(6) 地域福祉

小郡市民生委員児童委員協議会に「ふれあいネットワーク」活動、生活福祉資金貸付事業の社協事業との協働、地域において福祉ニーズの把握や地域の福祉相談、関係機関の連絡調整などの地域福祉推進活動の助成を行いました。

新型コロナウイルスの影響で事業縮小したため助成金減額申請されました。

【団体助成金額一覧表】

単位：円

団体名	金額	団体名	金額
小郡市老人クラブ連合会	580,000	小郡市民生委員児童委員協議会	580,000
小郡警察署少年補導員連絡会	45,000	児童劇団つばさ	50,000
小郡市青少年育成市民会議	320,000	みくにつこ劇団レインボーキッズ	50,000
小郡子ども劇場	20,000	久留米保護区小郡保護司会	50,000
		合計	1,695,000

9. 福祉教育事業

(1) 市内小学校・中学校に対して福祉教育の援助

①福祉教育教材「ともに生きる」を配布（市内 小学校5校 172冊）

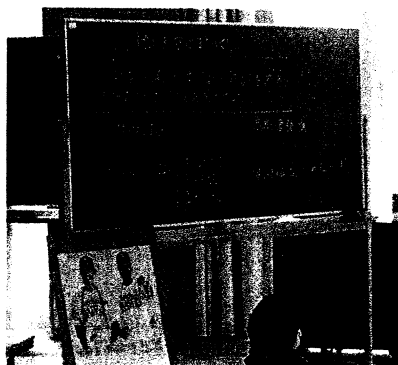
学校や家庭での福祉教育教材として活用するため、希望があった市内の5小学校の4年生に無償配布しました。

②小郡市社会福祉協議会福祉教育協力校指定

学校で取組む福祉教育活動、ボランティア活動を推進するため、市内の小・中学校および特別支援学校に助成募集を行い、申請があった学校に助成を行いました。

学校名	福祉活動協力校の主な活動内容
大原中学校	・総合的な学習の時間「大刀洗平和記念館見学」身近な地域の戦争の事実や戦時中の人々の思いを知り平和の大切さを学ぶ
小郡中学校	・小郡特別支援学校と交流 (メダルや歌・ダンスをビデオ撮影したものを届ける)
立石中学校	・福祉体験学習（車椅子・アイマスク・白杖） ・福祉体験学習（三井高校福祉教養コースの生徒による講話と手話体験）
宝城中学校	・「サツマイモを育てておいもパーティーをひらこう」特別支援学級との交流 ・「シトラスリボンプロジェクト」シトラスリボンの取り組みを広げる。
御原小学校	・高齢者施設（池月苑）の方とDVD（リコーダー演奏・メッセージ）で交流 ・アイマスクと白杖体験学習 ・蛍の会による点字学習 ・視覚障がい者・盲導犬との交流学习 ・小郡特別支援学校と手紙を通して交流 ・赤い羽根共同募金活動
大原小学校	・「伝え合おう、わたしたちの心」障がいがある方や認知症への見方・考え方についての学習（4年生） ・「大原小アグリカルチャー大作戦」米作り体験（5年生） ・校内花育活動

東野 小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 赤い羽根共同募金活動 ・ 社会福祉理解促進活動（点字体験） ・ 視覚障がい者・盲導犬との交流 ・ 人権の花ひまわりの栽培（5月）。花づくりを通して人権について考える
三国 小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉体験学習「人にやさしい町づくり」において、「蛍の会」による点字体験学習を行う
立石 小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉理解促進活動 点字体験 ・ 盲導犬ユーザーの方との交流（4年生） ・ 小郡特別支援学校との交流（2年生） ・ 高齢者との交流活動 ひょうたん作り（4年生） ・ 地域の高齢者に郷土料理を学ぶ（3、4、5、6年生） ・ 地域の高齢者や防犯ボランティアの方への感謝を伝えるポスター作り（全学年） ・ グループホーム「風のふく丘」との交流（3年生） ・ 認知症サポーター養成講座（3年生） ・ 意識啓発活動 赤い羽根共同募金活動（児童会）
小郡 小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、活動できず辞退
味坂 小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 点字体験 ・ 視覚障がい者、盲導犬との交流 ・ 障がい者福祉施設（風の丘）の施設長からの講話「障がいに対する偏見を直す」 ・ 地域行事参加（まつり味坂・ポピーの種まき・21の会との交流） ・ 赤い羽根共同募金活動
のぞみが 丘 小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合的な学習「よりよいくらしをめざして」手話体験、視覚障がい者との交流、点字体験、車いす・車いすバスケット体験 ・ 赤い羽根共同募金活動
小郡特別 支援学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講演「適応の難しさのある子どもたちへの支援」～大人側の見方・考え方のポイント～ 講師：久留米幼児教育研究所 言語聴覚士 高山紀子 先生



【東野小学校の福祉体験学習】

地域の安心まちづくりをテーマに、体験を通じて相手の気持ちを理解し、自分のできることを見つけていく学習の様子

③実習生（サポネットおごおりに実習に来た学生）の受け入れを行いました。

日時	学校名	内容
7/16（木）	九州医療専門学校	午前：ボランティアセンターの業務説明 午後：タイムケア
7/27（月）	九州医療専門学校	ボラ連理事会
7/31（金）	九州医療専門学校	タイムケア
7/31（金）	九州医療専門学校・筑紫女学園大学	小郡点訳会の会
8/8（土）	九州医療専門学校・筑紫女学園大学	小郡手話の会
8/27（木）	久留米大学	午前：要約筆記たなばた 午後：タイムケア
9/3（木）	FCフチガミ・久留米大学	午前：要約筆記たなばた 午後：タイムケア
9/10（木）	FCフチガミ	タイムケア
9/11（金）	FCフチガミ・久留米大学	小郡点訳会の会
9/14（月）	FCフチガミ・久留米大学	午前：ボランティア連絡協議会 午後：ボランティア情報センター
9/17（木）	久留米大学	タイムケア
9/24（木）	FCフチガミ	タイムケア
9/29（火）	FCフチガミ	ボラ連役員研修
10/1（木）	FCフチガミ	タイムケア
10/8（木）	FCフチガミ	タイムケア

(2) 福祉用具教材及び車いすの貸出し

学校等の体験学習のための用具教材の貸出しを行いました。

また、入院患者の外泊、怪我等により車いすが必要な方への車いすの貸出しも行いました。高齢化の影響か、在宅利用の方が若干多くなってきています。

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
貸 出 物	車いす	1	1	2	9	3	5	10	26	10	3	11	7	88
	アイマスク	0	0	0	25	0	0	0	20	10	0	6	0	61
	白杖	0	0	0	21	0	0	0	31	10	0	6	0	68
	点字板	0	0	0	0	0	48	27	30	50	0	0	0	155
	思いやり君	0	0	3	0	0	0	0	8	4	0	0	0	15
	ダーツ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

思いやり君…高齢者擬似体験セット



高齢者擬似体験学習中



貸出し車いす

(3) 社会福祉協議会実習受入

社会福祉分野の実践者、専門職の育成を目的とした社会福祉援助技術実習について受け入れを行い、下記日程で実習指導を行う予定でしたが新型コロナウイルス感染防止のため中止しました。

学 校 名	期 間
久留米高等技術専門学校	令和2年6月26日・11月27日(2日間)

10. 地域福祉活動

(1) ふれあいネットワーク活動の推進

地域に住む住民一人ひとりが、それぞれの立場から無理のない形で孤立しがちな高齢者や支援が必要な対象者への声かけ訪問、見守り、その他簡単な生活の手助けをする中から、支援が必要な高齢者等の悩みや問題を早期に気づき、区長・民生委員児童委員や関係機関と連携し、その問題を解決する小地域福祉活動「ふれあいネットワーク」活動を推進しました。

① 年間活動状況

月	事業	内容
4月	15日 第1回立石校区健康福祉部会	コロナ禍による中止
	20日 令和2年度各行政区助成金申請書依頼	
5月	7日 市ふれあいネットワーク監査あすてらす 相談室	・会計監査 監事 2名
	19日 市推進委員会 コロナのため書面決議文書発送 (書面による議案同意を得た)	・推進委員会委員の交代について ・令和元年度事業報告・決算報告の承認について ・令和2年度事業計画(案)・予算(案)について
	19日 令和2年度各校区助成金申請書依頼 新任区長研修会	・各校区代表宛依頼 ・コロナ禍による中止
6月	1日 小郡校区健康福祉部会 小委員会	・小郡校区の実状と課題を探る 参加者8名
	2日 第1回大原校区健康福祉部会	・令和元年度決算・事業報告 ・令和2年度役員及び部会役員報告 ・令和2年度活動計画・予算(案) ・コロナウイルス関連協議 参加者26名
	9日 第1回東野校区ふれあいネットワーク専門委員会	・令和元年度事業報告及び決算報告 ・令和2年度事業計画(案)及び予算について 参加者9名
	9日 三国小校区健康福祉部会 役員会	・「三国安心キットの検討」 参加者7名
	10日 大原校区健康福祉部会 役員会	・健康福祉部会方針・活動について 参加者7名
	26日 第1回のぞみが丘小校区健康福祉部会	・校区助成金について ・令和2年度事業について 参加者9名
7月	1日 大原校区健康福祉部会 役員会	・部会日程決め・運営方法・活動議題 参加者6名
	1日 三国小校区健康福祉部会 役員会	・事業内容検討 参加者7名
	3日 第1回味坂校区健康福祉部会 味坂校区敬老会実行委員会	・令和元年度事業報告・決算報告 令和2年度事業計画・各区の現状報告 参加者20名
	9日 大原校区健康福祉部会 役員会	・認知症サポーター研修会打ち合わせ 参加者5名
	16日 第2回大原校区健康福祉部会	・A・Bの2班に分かれ意見交換会 参加者11名
	18日 立石校区救急救命講習会	・救急救命講習 参加者22名
	20日 助成金用途について配布	・ふれあいネットワーク助成金の用途 について各校区健康福祉部会にて配布
	27日 三国小校区健康福祉部会 役員会	・健康福祉部会事業検討会 参加者7名
	27日 第2回のぞみが丘小校区健康福祉部会	・令和2年度事業について 参加者10名
29日 第1回御原校区健康福祉部会	・令和2年度校区事業計画・事業報告 ・各区からの敬老会開催について 参加者14名	
8月	4日 味坂校区敬老会実行委員会	・敬老会打ち合わせ 参加者18名

8月	5日	第1回小郡校区健康福祉部会	・役員選出 小委員会設置 参加者 22名
	5日	大原校区健康福祉部会 役員会	・認知症サポーター養成講座 参加者 12名
	7日	大原校区健康福祉部会 役員会	・認知症サポーター養成講座の反省会 認知症疑似体験 参加者 5名
	20日	味坂校区敬老会実行委員会	・敬老会計画打ち合わせ 参加者 20名
	24日	第3回のぞみが丘小校区健康福祉部会	・令和2年度事業の検討 自分サポートプロジェクト関連 参加者 10名
9月	4日	味坂校区敬老会実行委員会	・敬老会実施案について 参加者 18名
	4日	三國小校区健康福祉部会 役員会	・事業検討会 参加者 7名
	9日	大原校区健康福祉部会 役員会	・3つのグループ分け検討 参加者 6名
	14日	第4回のぞみが丘小校区健康福祉部会	・自分サポートプロジェクト 実施要領等検討 参加者 10名
	15日	福祉レクリエーションボランティア講座(9月15日～12月8日まで7回)	・サロンで指導できるように指導者講習会 参加者のべ 190名
	17日	御原校区合同敬老会中止に伴い 記念品配布	・敬老会準備会議 参加者 14名
	18日	小郡校区健康福祉部会 小委員会	・校区の課題や展望を語る ・優先すべき課題の方向性をきめる。
	23日	第2回東野校区ふれあいネットワーク ワーク専門委員会	・各行政区の「ふれあいネットワーク活動」 の現状について ・福祉委員について 参加者 7名
	24日	味坂校区敬老会実行委員会	・敬老会冊子作成 参加者 15名
27日	味坂校区敬老会実行委員会 令和2 年度校区敬老会中止のため配布	・敬老会記念品配布 参加者 20名	
10月	1日	三國小校区健康福祉部会 役員会	・打ち合わせ 参加者 7名
	7日	第3回大原校区健康福祉部会	・SOSネットワーク講習会、研修会 参加者 10名
	17日	第2回立石校区健康福祉部会	・認知症サポーター養成講習会 参加者 24名
	24日	第2回味坂校区健康福祉部会	・事業について 参加者 19名
	28日	ふれあいネットワーク リーフレ ット・宝満ノート説明・配布	・のぞみが丘小校区健康福祉部会にて 説明配布
	28日	第5回 のぞみが丘小校区 健康福祉部会	・自分サポートプロジェクト実施について レクリエーションのやり方 使用備品等準備 参加者 10名
11月	1日	第1回三國小校区健康福祉部会	・介護体験講座(ふれあい館三国) 「誰でもできるらくらく介護」 共催 公益社団法人福岡県介護福祉会 参加者 38名
	4日	三國小校区健康福祉部会 役員会	・打ち合わせ 参加者 7名
	7日	のぞみが丘小校区健康福祉部会	・自分サポートプロジェクト会場準備 ・打ち合わせ 参加者 9名
	8日	のぞみが丘小校区健康福祉部会	・第1回自分サポートプロジェクト のぞみ小体育館 参加者 22名
	10日	大原校区健康福祉部会	・SOSネットワークグループ勉強会 参加者 12名

11月	10日～11日	ふれあいネットワークリーフレット、宝満ノート説明、配布	・三国校区健康福祉部会、立石校区健康福祉部会、味坂校区健康福祉部会、御原校区健康福祉部会、小郡校区民協会議、大原校区民協会議、東野校区民協会議にて説明配布
	11日	第2回御原校区健康福祉部会	・事業について ・敬老会式典の反省会 参加者 14名
	18日	第6回のぞみが丘小校区健康福祉部会	・コロナ感染防止対策の現状について 自分サポートプロジェクトについて 意見交換会 参加者 9名
	20日	小郡校区健康福祉部会 小委員会	・課題に基づき高齢化対策優先 ・高齢者居場所づくり「七夕サロン」提案 参加者 8名
	24日	第3回立石校区健康福祉部会	・「立石 SOS ネットワークについて」 参加者 23名
12月	2日	大原校区健康福祉部会	・まち協役員・健康福祉部会の交流会 参加者 32名
	5日	のぞみが丘小校区健康福祉部会	・自分サポートプロジェクトについて 会場準備・打ち合わせ 参加者 9名
	6日	のぞみが丘小校区健康福祉部会	・自分サポートプロジェクト第2回実施 のぞみが丘小体育館 参加者 28名
	9日	小郡校区健康福祉部会 小委員会	・「七夕サロン」の内容協議 参加者 8名
	11日	三国小校区健康福祉部会 役員会	・打ち合わせ 参加者 7名
	16日	第3回御原校区健康福祉部会	・事業計画について 参加者 7名
1月	14日	三国小校区健康福祉部会 役員会	・打ち合わせ 参加者 7名
2月	8日	令和2年度各行政区 助成金実績報告書依頼 コロナ対策ポスター・罫紙配布	・各区、民生委員児童委員宛依頼 ・公民館等に集まるときの参加ルール ポスター配布 各行政区区長
	8日	令和2年度各校区 助成金実績報告書依頼	・各校区代表宛依頼
	19日	小郡校区健康福祉部会 小委員会	・「七夕サロン」の内容協議 参加者 8名
	20日	第4回立石校区健康福祉部会	・2年度事業報告・決算報告 ・3年度事業計画・予算(案) 参加者 23名
	25日	三国小校区健康福祉部会 役員会	・打ち合わせ 参加者 7名
3月	1日	第7回のぞみが丘小校区健康福祉部会	・令和3年度 健康福祉部会の組織について ・令和3年度 事業計画について 参加者 9名
	7日	第2回三国小校区健康福祉部会	・「三国あんしんキット」配布会 ※2回に分けて開催 参加者 延べ40名
	9日	第3回東野校区 ふれあいネットワーク専門委員会	・「校区ふれあいネットワーク専門委員会要綱」一部改正 ・養護老人ホームについて ・各行政区「ふれあいネットワーク活動」の現状について 参加者 9名

12日	第2回小郡校区健康福祉部会	・令和2年度のまとめ ・令和3年度事業計画	参加者22名
29日	三国小校区健康福祉部会 役員会	・令和3年度事業計画・予算案について	参加者7名
30日	第3回味坂校区健康福祉部会	・令和2年度事業報告（各行政区より） ・令和3年度事業計画・予算検討	参加者18名

②新任区長研修会・全体研修会

新型コロナウイルスの影響により新任区長研修会・全体研修会中止。

③各区ふれあいネットワーク推進

新型コロナウイルスの影響により、各区のサロン活動・見守り活動が困難をきたしたため、各校区会議に出向き7月には、助成金の用途についての資料配布。

11月には、ふれあいネットワークリーフレット・脳トレ宝満ノートを作成配布。

2月には、「公民館等集まる参加ルール」ポスターを作成し各行政区に配布しました。

④レクリエーション講座

福祉レクリエーションボランティア講座の開催

日時：令和2年9月15日（火）～ 令和2年12月8日（火）

内容：地域のふれあいネットワークのサロン活動等で活躍していただくボランティアの方を養成する講座を福岡県レクリエーション協会専務理事

佐藤 靖典 氏他を講師に招いて7回の講座を行いました。参加者延べ190名

⑤救急医療情報キット

ひとり暮らしで急病に倒れてしまった場合、緊急通報先等の情報を救急隊員に確実に発することができるように「救急医療情報キット」を追加配布しました。

また、台帳内容変更、キット削除者の更新作業を随時行いました。

救急情報キットの配布状況

累計令和3年3月31日現在

校区	件数	校区	件数	校区	件数
小郡校区	116	立石校区	57	三国小校区	215
大原校区	155	御原校区	22	のぞみが丘小校区	6
東野校区	38	味坂校区	49	合計	658

⑥ふれあいネットワーク校区推進費

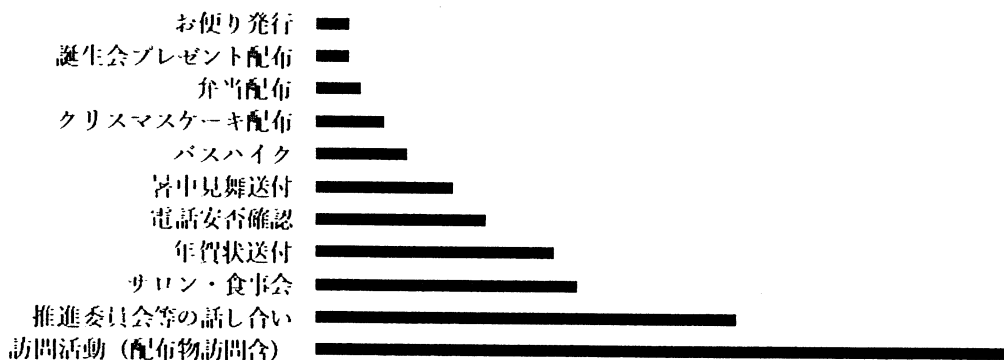
各校区のふれあいネットワーク活動を推進する事業に対し、活動支援を行いました。

⑦各区ふれあいネットワークの推進

「新しい生活様式」に対応した活動推進するため「新型コロナウイルス感染症に気をつけた活動」リーフレットを作成し配布しました。人との接触を極力避けなければならない中、サロン等の集まりが例年より減少しており、感染拡大防止に気をつけた訪問活動を推進して頂きました。配布物もコロナ禍に合ったマスクや消毒液など今必要なものをゴミ袋やティッシュペーパーなどの生活必需品と共に配布が増えています。

【訪問時の配布物】 ・指定ゴミ袋 ・マスク ・お菓子 ・ティッシュ ・ハンドジェル ・エコバック ・年末粗品 ・海苔 ・手作りペン	【その他の活動】 ・子ども会との見守り活動 ・手作りおはぎ配布 ・ポスティング ・ラジオ体操	【季節行事例】 ・ひなまつり ・花見 ・敬老会	◆コロナ禍による代替え活動 ・桃配布 ・記念品配布 ・お家でチャレンジ運動 ・コロナ対策講演会 ・宝満ノート配布
---	---	---	--

令和2年度ふれあいネットワーク活動 各区の取組



⑧ふれあいネットワーク活動助成事業

各行政区において、支援が必要な高齢者などの悩みや問題に早期に気づく声かけや見守り活動に係る経費や、身近な公民館等を利用し外出のきっかけや地域の交流を目的としたサロンの様な開催を目指す各区での事業に対し、助成金を交付し活動の推進を図りました。コロナの影響により活動ができなかった行政区（2区）より、助成金の返還が生じました。

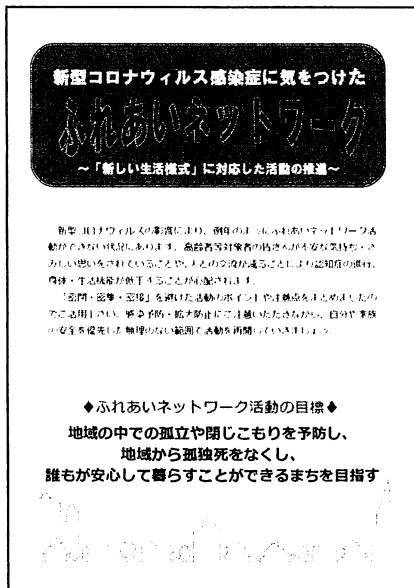
令和2年度	【申請 62 行政区中 59 行政区 決定額 2,660,000 円】
令和元年度	【申請 62 行政区中 60 行政区 決定額 2,720,000 円】
平成30年度	【申請 62 行政区中 60 行政区 決定額 2,690,000 円】

⑨新型コロナウイルス感染症に気がつけたふれあいネットワーク活動リーフレット・脳トレ！宝満ノート配布

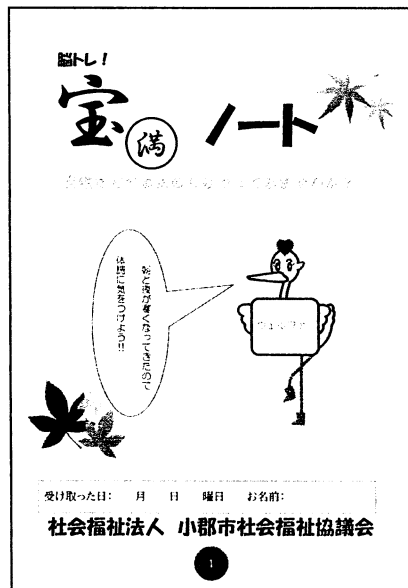
福祉なんでも相談を開設したことの周知と、コロナ禍で自宅での自粛生活中に脳トレをしてリフレッシュして頂くために「脳トレ！宝満ノート」作成しました。見守り活動等に活用して頂けるよう区長や民生委員児童委員等協力のもと配布しました。

・配布実績

	リーフレット (部)	脳トレ第1弾 11月発行(冊)	脳トレ第2弾 2月発行(冊)
小郡校区	123	570	471
大原校区	50	220	100
東野校区	12	170	290
三国小校区	40	275	670
のぞみが丘小校区	6	140	861
立石校区	108	664	149
御原校区	13	15	75
味坂校区	50	180	85
校区コミュニティーセンター等	40	995	176
合計	442部	3229冊	2877冊



リーフレット



第1弾



第2弾

(2) 広報紙「社協だより」の発行

「おごおり社会福祉協議会だより」は4回発行し、地域福祉の普及を主な目的に市内各世帯に配布しました。

また、有料広告欄の募集活動を行い、広告PR力で幅広く手に取ってもらう効果と広告収入による経費負担軽減を図りました。

発行状況			
<p>おごおり 社会福祉協議会だより No.176 2020 6</p>  <p>「地域福祉活動計画」&「地域福祉活動計画」 表紙を募集するおごおり</p> <p>「よく似た顔をしたおごおり」イラスト・ペナルティ・あずま (P1) - STAFFING 企画・編集 - * 掲載料は発行後1ヶ月間無料です。* 掲載料は発行後1ヶ月間無料です。 発行: 社会福祉協議会 印刷: 社会福祉協議会 発行所: 社会福祉協議会 〒110-0007 東京都千代田区千代田1-1-1 TEL: 03-5521-1107 FAX: 03-5521-1108 E-mail: info@ogoori.or.jp</p>	<p>令和2年6月1日 22,500部発行《特集》 地域福祉活動計画 *表紙/コロナ禍で予期せぬ臨時休校。子どもたちの家庭での過ごし方が課題となりました。社協では「お家時間」を過ごす小中高校生を対象に、HPでイラスト募集。応募イラストを表紙で紹介しました。</p>	<p>おごおり 社会福祉協議会だより No.177</p>  <p>地域の輪 つなぐ広げる 赤い羽根 …赤い羽根共同募金</p>	<p>令和2年9月1日 23,000部発行《特集》 赤い羽根共同募金運動 感染予防を講じながら、少しずつ地域福祉活動を再開。広報紙を通じて、次年度の地域福祉活動のために共同募金運動の理解と協力を求めました。スポーツを通じて、障がいへの理解を求める江藤愛美さんへのインタビューの連載スタート。</p>
<p>おごおり 社会福祉協議会だより No.178 2020 12</p>  <p>「ふれあいのネットワーク」</p> <p>「人と人をつなぐ」をテーマに地域活動の紹介 感染予防対策を講じ、工夫しながら進める「ふれあいのネットワーク」の紹介。コロナ禍で高齢者の健康と精神的な面が心配される中、人と地域のつながりを進める「ふれあいのネットワーク活動」の紹介。</p>	<p>令和2年12月1日 22,600部発行《特集》 「人と人をつなぐ」をテーマに地域活動の紹介 感染予防対策を講じ、工夫しながら進める「ふれあいのネットワーク」の紹介。コロナ禍で高齢者の健康と精神的な面が心配される中、人と地域のつながりを進める「ふれあいのネットワーク活動」の紹介。</p>	<p>おごおり 社会福祉協議会だより No.179 2021 3</p> <p>特集 ポラ運の挑戦～コロナの中で～ 「コロナだからこそ」と、勇を向きま</p>  <p>マスク つけられませんか</p>	<p>令和3年3月1日 23,300部発行《特集》 ボランティア活動特集/コロナの中で、ボランティア連絡協議会ができる活動への挑戦する様子を紹介。 *表紙 マスク着用を巡りトラブルがないように意思表示カードを掲載しました。必要な方が意思表示カードを切り取って利用しやすいようにレイアウトも工夫しました。</p>

(3) ホームページの新規開設

「福祉なんでも相談」を開設するにあたって、いつでも相談できる相談フォームを備えたホームページを令和3年3月30日にリニューアル開設しました。ご利用される地域の皆様にとって、より情報が探しやすいよう構成やデザインを全面的に刷新しました。また、これまでパソコン用のホームページとなっておりましたが、時代を考慮しスマホなどのモバイルにも対応しております。

(4) 後援名義の使用許可

福祉関係団体やボランティア・市民活動団体等が実施する事業に後援名義の使用を許可しました。

合計 2 件 2 回分

実施日	事業名	団体名
11月8日	無料調停相談会	無料調停相談会 会長 椛島 修
2月14日	ハーモニーin おごおり「声の祭典」	小郡音楽祭実行委員会 委員長 山崎 三代子

(5) ちびっ子広場の遊具修理及びベンチ設置・立て看板配布

子どもの安全のため、立て看板を作成配布しました。また、子どもたちの遊び場、地域の皆様のつどいの場として行政区内地域広場における遊具修理及びふれあいベンチの設置修理を行いました。

◇立て看板

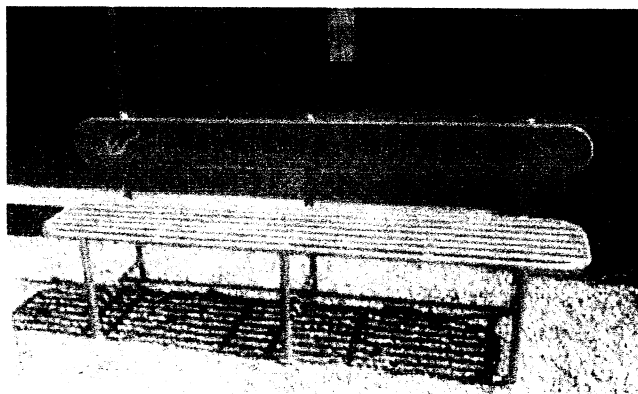
行政区	NO.1 子どもの安全	NO.2 飛び出し注意
45行政区	38本	52本

◇ベンチ設置

行政区数	ベンチ設置
10行政区	10基

◇遊具修理・撤去

行政区	設置場所	修理内容
松崎	松崎神社内	シーソー撤去・ブランコ3連・4連修理
吹上	吹上神社内	ブランコ2連塗装・滑り台塗装
古飯	古飯神社内	ブランコ修理・メリーゴーランド修理



11.令和2年度行事表

4 月		5 月	
日	曜	日	曜
1	水	1	金
2	木	2	土
3	金	3	日
4	土	4	月
5	日	5	火
6	月	6	水
7	火	7	木
8	水	8	金
9	木	9	土
10	金	10	日
11	土	11	月
12	日	12	火
13	月	13	水
14	火	14	木
15	水	15	金
16	木	16	土
17	金	17	日
18	土	18	月
19	日	19	火
20	月	20	水
21	火	21	木
22	水	22	金
23	木	23	土
24	金	24	日
25	土	25	月
26	日	26	火
27	月	27	水
28	火	28	木
29	水	29	金
30	木	30	土
		31	日

* 民児協＝民生委員児童委員協議会 * ふれネ＝ふれあいネットワーク * 両筑社協部会＝両筑地区社協連絡会地域福祉活動部会

令和2年度行事表

6 月			7 月		
日	曜	行事内容	日	曜	行事内容
1	月	ミーティング ・ボラ連会長副会長会 ・社協だより発行176号	1	水	ミーティング ・市同研社教推進委員会 ・日常生活自立支援事業専門員業務説明会
2	火		2	木	育成会理事会 ・弁護士予約 ・タイムケア
3	水	市育成会理事会 ・包括会議 ・社協理事会(決議の省略)	3	金	
4	木	弁護士予約 ・タイムケア	4	土	個人Vo連絡会
5	金		5	日	
6	土		6	月	自立支援ワーキングチーム会議
7	日		7	火	
8	月		8	水	
9	火		9	木	弁護士相談 ・タイムケア
10	水	小郡市福祉会理事会	10	金	三国ヶ丘1サロン
11	木	弁護士相談 ・タイムケア	11	土	
12	金	三国ヶ丘1サロン ・上岩田サロン	12	日	
13	土		13	月	
14	日		14	火	
15	月		15	水	吹上サロン
16	火	民児協総務会 ・支援学校連絡会	16	木	タイムケア ・久留米市災害ボランティアセンター北野サテライト支援
17	水	吹上サロン	17	金	三国ヶ丘1サロン
18	木	入所判定会議 ・弁護士予約 ・タイムケア	18	土	
19	金	評議員選任・解任委員会 ・三国ヶ丘1サロン	19	日	
20	土		20	月	レク定例会
21	日	小坂井1サロン	21	火	民児協総務会
22	月	レク定例会 ・ボラ連理事会	22	水	休館日
23	火		23	木	海の日
24	水	休館日 ・社協だより編集会議	24	金	スポーツの日
25	木	弁護士相談 ・タイムケア ・サーモカメラ贈呈式	25	土	
26	金	社協評議会(決議の省略) ・小郡市福祉会評議員会 ・久留米高等技術専門校実習 中止	26	日	
27	土		27	月	両筑社協部会 ・レク定例会 ・ボラ連臨時理事会
28	日		28	火	
29	月		29	水	両筑地区社会福祉協議会連絡会会長局長会議 ・自立支援運営会議 ・宝城北サロン
30	火	生活困窮者自立支援事業支援調整会議	30	木	タイムケア ・成年後見制度利用促進会基礎研修会 ・入所判定会議
			31	金	県社協新任職員研修会 ・令和2年度福岡県日常生活自立支援事業第2回契約締結審査会 ・ボラセンZoom研修

* 民児協＝民生委員児童委員協議会 * 両筑社協部会＝両筑地区社会福祉協議会連絡会地域福祉活動部会

令和2年度行事表

8 月		9 月	
日	曜	日	曜
1	土	1	火
2	日	2	水
3	月	3	木
4	火	4	金
5	水	5	土
6	木	6	日
7	金	7	月
8	土	8	火
9	日	9	水
10	月	10	木
11	火	11	金
12	水	12	土
13	木	13	日
14	金	14	月
15	土	15	火
16	日	16	水
17	月	17	木
18	火	18	金
19	水	19	土
20	木	20	日
21	金	21	月
22	土	22	火
23	日	23	水
24	月	24	木
25	火	25	金
26	水	26	土
27	木	27	日
28	金	28	月
29	土	29	火
30	日	30	水
31	月		

* 民児協＝民生委員児童委員協議会 * ふれネ＝ふれあいネットワーク * レク講座＝福祉レクリエーションボランティア講座
 * 両筑社協部会＝両筑地区社会福祉協議会連絡会地域福祉活動部会

令和2年度行事表

10 月		11 月	
日	曜	日	曜
1	木	1	日
2	金	2	月
3	土	3	火
4	日	4	水
5	月	5	木
6	火	6	金
7	水	7	土
8	木	8	日
9	金	9	月
10	土	10	火
11	日	11	水
12	月	12	木
13	火	13	金
14	水	14	土
15	木	15	日
16	金	16	月
17	土	17	火
18	日	18	水
19	月	19	木
20	火	20	金
21	水	21	土
22	木	22	日
23	金	23	月
24	土	24	火
25	日	25	水
26	月	26	木
27	火	27	金
28	水	28	土
29	木	29	日
30	金	30	月
31	土		

* 民児協＝民生委員児童委員協議会 * ふれネ＝ふれあいネットワーク * レク講座＝福祉レクリエーションボランティア講座

令和2年度行事表

12 月			1 月		
日	曜	行事内容	日	曜	行事内容
1	火	ミーティング ・包括会議 ・社協だより発行178号	1	金	
2	水	休館日 ・地職連役員会 ・自立支援協議会全体会議	2	土	年末年始休暇
3	木	弁護士予約 ・タイムケア	3	日	↓
4	金	会長・局長研修会 ・まごころマルシェ会議	4	月	仕事始式 ・ミーティング
5	土		5	火	
6	日		6	水	休館日
7	月	両筑社協部会	7	木	弁護士予約 ・ウインタースクール 中止
8	火	麻生学園共募表彰式 ・福祉レクリエーション講座閉講式 ・ボラ連講座③	8	金	
9	水	休館日	9	土	
10	木	県共募個別訪問 ・弁護士相談 ・タイムケア ・ボラ連理事會	10	日	
11	金	はねっと第3回報告日 ・自立支援協議会	11	月	成人の日 ・出初め式
12	土		12	火	自立支援協議会全体会議 ・津古サロン ・市地域包括支援センター運営会議 ・ボラ連講座④
13	日		13	水	休館日 ・市同研推進委員会 ・共募はねっと報告
14	月		14	木	弁護士相談 ・タイムケア
15	火	民児協総務会 ・R3共募配分申請受付締切 ・津古サロン	15	金	働き方改革推進支援個別訪問相談
16	水	休館日 ・グローバルネットワーク会議 ・吹上サロン	16	土	
17	木	弁護士予約 ・第1回地域共生セミナー ・社協だより編集会議	17	日	
18	金	三国が丘1サロン	18	月	
19	土		19	火	重層的支援体制整備会議 ・民児協総務会
20	日	ウインタースクール説明会中止	20	水	休館日
21	月	レク定例会 中止	21	木	入所判定会議 ・弁護士予約 ・タイムケア
22	火	地域共生ブロック別研修 ・九社連会長表彰授与	22	金	自立支援協議会運営会議 ・ひきこもり支援者研修会議
23	水	休館日 ・駅前街頭募金活動	23	土	
24	木	弁護士相談	24	日	
25	金	ウインタースクール中止	25	月	レク定例会 中止
26	土	まごころマルシェ×宝満の市 年末祭	26	火	社協監査 ・生活困窮者自立支援事業支援調整会議(書面決議)
27	日		27	水	休館日
28	月	仕事納め	28	木	弁護士相談 ・タイムケア
29	火		29	金	生活支援コーディネーター説明会
30	水		30	土	
31	木	↓	31	日	

* 民児協＝民生委員児童委員協議会 * ふれネ＝ふれあいネットワーク
 * 両筑社協部会＝両筑地区社会福祉協議会連絡会地域福祉活動部会

令和2年度行事表

2 月			3 月		
日	曜	行事内容	日	曜	行事内容
1	月	ミーティング	1	月	社協だより発行(179号)・民協zoom研修・職員人権学習 ミーティング
2	火	包括会議	2	火	
3	水	休館日・立石中学校福祉体験授業	3	水	休館日・生活困窮人材育成研修(後期)
4	木	こころの相談会・タイムケア	4	木	弁護士予約・タイムケア
5	金		5	金	
6	土		6	土	生活支援コーディネーター研修
7	日		7	日	
8	月	市指導監査	8	月	ボラ連理事会
9	火	青少年育成会議理事会・ボラ連講座閉講式	9	火	青少年育成会議理事会 中止・地域居場所作り研修
10	水	休館日・グローバルネットワークおごおり会議・津古サロン(中止)	10	水	休館日・あすてらす運営会議
11	木	建国記念日	11	木	弁護士相談・宝城北サロン・タイムケア
12	金	生困囑託募集会議・共同募金配分審査会・働き方改革個別支援・自立支援協議会運営会議	12	金	自立支援運営会議・個人ボランティア連絡会定例会議
13	土		13	土	
14	日		14	日	
15	月		15	月	市町村社協職員研修会(Web)
16	火	民児協総務会	16	火	民児協総務会・グローバルネットワークおごおり会議・支援調整会議
17	水	休館日・吹上サロン	17	水	休館日・吹上サロン・地域共生社会研修
18	木	弁護士予約・タイムケア・ボラ連理事会	18	木	タイムケア・弁護士予約・入所判定委員会・苦情従事者研修会(Web)
19	金	自立支援全体会	19	金	小郡市社協理事会・上岩田サロン・社協評議員選任解任委員会
20	土		20	土	春分の日・災害ボランティア講座
21	日	生困囑託職員採用試験	21	日	スプリングスクール説明会
22	月	レク定例会 中止・地域ボランティア連絡会リモート会 ・共募理事会	22	月	レク隊定例会
23	火	天皇誕生日	23	火	民児協全員協議会
24	水	休館日・日常生活自立専門員研修・生困スキルアップ研修	24	水	休館日・市同研推進委員会・両筑地区社協連絡会地域福祉部会・小郡市福祉会評議員会・両筑社協事務局長会・働き方改革個別支援・両筑社協部会
25	木	弁護士相談・タイムケア・自立支援協議会ネットワーク会議・生活困窮スキルアップ講習	25	木	弁護士相談・スプリングスクール
26	金	働き方改革個別支援	26	金	生活困窮者自立支援事業支援調整会議
27	土	県共募会長・局長会議	27	土	
28	日		28	日	
			29	月	小郡市社協評議員会
			30	火	
			31	水	休館日

* 民児協＝民生委員児童委員協議会 * ふれネ＝ふれあいネットワーク
* 両筑社協部会＝両筑地区社会福祉協議会連絡会地域福祉活動部会